

PAT-NO: JP02000203634A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2000203634 A
TITLE: BLISTER PACK
PUBN-DATE: July 25, 2000

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

ARAI, NORIO

COUNTRY

N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

ASAHI KOGYO KK

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP11007829

APPL-DATE: January 14, 1999

INT-CL (IPC): B65D075/38

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a blister pack wherein a ground paper thereof has a large printing space, and there is no need to control the kinds of adhesives to be applied to a flange of a blister case and moreover the blister case can be easily separated from the ground paper.

SOLUTION: The blister pack consists of a blister case 1 comprising a container part 4, which stores cosmetics and has an opening, and a flange part extending outward from the periphery of the opening and a ground paper 2, folded double, which fixes the case 1 and on each of the opposite sides of which information such as all compositions of cosmetic materials is printed. A window 7, into which the container part 4 is inserted to fix the flange by means of the edges of the part 4, is formed in the ground paper 2.

The inside
surfaces of the folded paper 2 are adhered to each other through a
non-slipping
release paste so as to be separated, thereby holding the flange part
of the
case 1 between the inside surfaces.

COPYRIGHT: (C) 2000, JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2000-203634
(P2000-203634A)

(43) 公開日 平成12年7月25日 (2000.7.25)

(51) Int.Cl.⁷

B 6 5 D 75/38

識別記号

F I

B 6 5 D 75/38

テーマコード(参考)

3 E 0 6 7

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号

特願平11-7829

(22) 出願日

平成11年1月14日 (1999.1.14)

(71) 出願人 591173936

旭日工業株式会社

静岡県富士宮市富士見ヶ丘545番地

(72) 発明者 新井 憲夫

静岡県富士宮市富士見ヶ丘545 旭日工業
株式会社内

(74) 代理人 100079382

弁理士 西藤 征彦

Fターム(参考) 3E067 AA14 AB81 AC01 BC03A

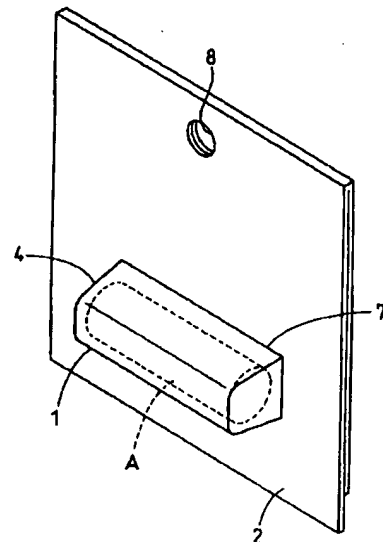
EE15 EE18 FB02 FC01

(54) 【発明の名称】 プリスターパック

(57) 【要約】

【課題】 台紙の印刷スペースが広く、プリスターケースのフランジ部に塗布される接着剤の種類を管理することがなく、しかも、プリスターケースと台紙とを分別することが容易なプリスターパックを提供する。

【解決手段】 化粧品Aを収容し開口部を有する容器部4と上記開口部周縁から外側に延設されたフランジ部とからなるプリスターケース1と、このプリスターケース1を固定し表裏面に化粧料の全成分等の情報が印刷された台紙材を二つ折りしてなる台紙2とで構成されており、上記台紙材には、上記容器部4を挿通させその縁部で上記フランジ部を係止する窓部7が形成され、上記台紙2の内側の2面は、防滑性を有する剥離糊を介して剥離可能に貼着されているとともに、上記プリスターケース1のフランジ部を挟持している。



A : 化粧品

1 : プリスターケース

2 : 台紙

4 : 容器部

7 : 窓部

【特許請求の範囲】

【請求項1】 商品を収容するプリスターケースと、このプリスターケースを固定する台紙とを備えているプリスターパックであって、上記プリスターケースが開口部を有する容器部と上記開口部周縁から外側に延設されたフランジ部とからなり、上記台紙が台紙材を二つ折りにすることにより形成され、上記容器部をその裏面から挿通させその縁部で上記フランジ部を係止する窓部が上記台紙材に形成され、上記台紙材の裏面に剥離糊を塗布しその裏面を内側にして二つ折りにすることにより裏面同士が上記剥離糊を介して剥離可能に貼着されているとともに上記フランジ部を挟持していることを特徴とするプリスターパック。

【請求項2】 剥離糊が防滑性を有するものである請求項1記載のプリスターパック。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、商品等を販売する際に用いるプリスターパックに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来より、図3に示すように、化粧品等の商品Bは、プリスターパックに収容されて販売される場合がある。このプリスターパックは、商品Bを収容するプリスターケース51と、このプリスターケース51を貼着することにより固定する台紙52とで構成されている。さらに、上記プリスターパックが店頭で吊り棒に吊るされ得るように、台紙52の上部には貫通孔58が形成されている。

【0003】上記プリスターケース51は、透明なプラスチック製であり、開口部を有する容器部54と、上記開口部周縁から外側に延設されたフランジ部55とからなっており、これらが一体成形されている。また、上記プラスチックの材質は、PVC（塩化ビニル樹脂）、A-PET（ポリエチレンテレフタレート）、PP（ポリプロピレン）、PS（ポリスチレン）等である。

【0004】上記台紙52は、紙製であり、その表面および裏面に、商品名や能書き等の情報が印刷されている。

【0005】そして、商品Bが収容されたプリスターパックは、つぎのようにして作製される。すなわち、まず、プリスターケース51、商品名等の情報が印刷された台紙52および商品Bならびにプリスターケース51のフランジ部55に塗布する接着剤を準備する。ついで、台紙52のプリスターケース51貼着予定部の中心部に、商品Bを取り易くするためのミシン目を形成する。つぎに、商品Bをプリスターケース51の開口部から容器部54内に収容する。つぎに、プリスターケース51のフランジ部55の裏面に接着剤を塗布する。つぎに、商品Bが収容されたプリスターケース51を上記接着剤を介して台紙52の表面に貼着する。そののち、台

紙52の上部に貫通孔58を形成する。このようにして、プリスターパックが作製される。

【0006】そして、商品Bの購入者は、上記ミシン目で台紙52を破り、商品Bを台紙52の裏面から取り出す。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、台紙52に印刷すべき情報の量が多くなると、台紙52の表裏面だけでは印刷スペースが足りないため、別途に能書き等が記載された紙が必要となり、さらに、この紙を商品とともにプリスターケース51内に収容しなければならない。特に、商品が化粧品関係のものである場合には、その化粧料の全成分を表示する義務があるため、印刷スペースが足りないことが多い。

【0008】また、プリスターケース51のフランジ部55に塗布される接着剤は、プリスターケース51の材質によって異なるため、プリスターパックを作製する際に、接着剤の種類を管理しなければならない。

【0009】また、商品Bの購入者は、商品を取り出したのちは、ごみとなるプリスターケース51と台紙52とが接着剤により強固に貼着されているため、これらを分別することが困難で煩わしく、プラスチック製品（プリスターケース51）と紙製品（台紙52）とを分別することなく捨てることが多い。このようにしてごみを捨てると、環境に悪影響を及ぼす。

【0010】本発明は、このような事情に鑑みなされたもので、台紙の印刷スペースが広く、プリスターケースのフランジ部に塗布される接着剤の種類を管理することがなく、しかも、プリスターケースと台紙とを分別することが容易なプリスターパックの提供をその目的とする。

【0011】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するため、本発明のプリスターパックは、商品を収容するプリスターケースと、このプリスターケースを固定する台紙とを備えているプリスターパックであって、上記プリスターケースが開口部を有する容器部と上記開口部周縁から外側に延設されたフランジ部とからなり、上記台紙が台紙材を二つ折りにすることにより形成され、上記容器部をその裏面から挿通させその縁部で上記フランジ部を係止する窓部が上記台紙材に形成され、上記台紙材の裏面に剥離糊を塗布しその裏面を内側にして二つ折りにすることにより裏面同士が上記剥離糊を介して剥離可能に貼着されているとともに上記フランジ部を挟持しているという構成をとる。

【0012】すなわち、本発明のプリスターパックは、台紙が台紙材を二つ折りにすることにより形成されているため、印刷スペースが二つ折りにされた台紙の外側の2面（台紙材の表面に対応する面）および対峙する内側の2面（台紙材の裏面に対応する面）の合計4面とな

り、多くの情報を台紙に印刷することができる。また、プリスターケースのフランジ部を台紙材の裏面同士が挟持することによりプリスターケースが固定されているため、プリスターバックを作製する際には、プリスターケースの固定に接着剤を用いない。このため、接着剤の種類を管理する必要がなく、いろいろな材質のプリスターケースに対応することができ、また、化粧品を取り出す際には、プリスターケースと台紙とを簡単に分別することができる。

【0013】また、本発明のプリスターバックにおいて、剥離糊が防滑性を有するものである場合には、商品がプリスターケース内で回転せず、プリスターバックの作製時から商品の販売時まで、商品の正面をプリスターバックの正面に向けておくことができ、店頭陳列時の外観がよくなる。

【0014】

【発明の実施の形態】つぎに、本発明の実施の形態を図面にもとづいて詳しく説明する。

【0015】図1および図2は、本発明のプリスターバックの一実施の形態を示している。この実施の形態では、プリスターバックは、図1に示すように、化粧品（商品）Aを収容するプリスターケース1と、このプリスターケース1を固定する二つ折りの台紙2とで構成されている。さらに、上記プリスターバックが店頭で吊り棒に吊るされ得るように、台紙2の上部には貫通孔8が形成されている。

【0016】上記プリスターケース1は、従来の技術と同様のものである。すなわち、プリスターケース1は、図2に示すように、透明なプラスチック製であり、開口部3を有する容器部4と、上記開口部3周縁から外側に延設されたフランジ部5とからなっており、これらが一体成形されている。また、上記プラスチックの材質は、PVC（塩化ビニル樹脂）である。

【0017】上記台紙2は、1個所の角部6cが切断された略長方形の台紙材6を二つ折りにした紙製のものである。そして、この台紙材6には、上記プリスターケース1の容器部4を挿通させる窓部（開口部）7が形成されており、この窓部7は、その縁部でプリスターケース1のフランジ部5に係止するようになっている。また、二つ折りにされた台紙2の外側の2面（台紙材6の表面6aに対応する面）および対峙する内側の2面（台紙材6の裏面6bに対応する面）には、商品名、能書き、化粧料の全成分等の情報が印刷されている。また、上記台紙2の内側には、防滑性を有する剥離糊が塗布されており、上記内側の2面は、上記剥離糊を介して剥離可能に貼着されているとともに、上記プリスターケース1のフランジ部5を挟持している。

【0018】そして、このようなプリスターバックは、つぎのようにして作製される。すなわち、まず、上記プリスターケース1、商品名等の情報が印刷された台紙材

6および化粧品Aならびに防滑性を有する剥離糊を準備する。ついで、台紙材6の裏面6bの横方向の中心線9より下方に上記窓部7を形成するとともに、上記裏面6bの上半分に剥離糊を塗布する。つぎに、化粧品Aをプリスターケース1の開口部3から容器部4内に収容するとともに、上記容器部4を上記窓部7の裏面6bから挿通させ、上記プリスターケース1のフランジ部5を窓部7の縁部に係止させる。つぎに、上記中心線9を折り目として台紙材6をその裏面6bを内側にして二つ折りにし、裏面6b同士を貼着させる。この裏面6b同士が貼着した状態では、裏面6b同士が上記フランジ部5を挟持している。そののち、台紙2の上部に貫通孔8を形成する。このようにして、プリスターバックが作製される。

【0019】そして、化粧品Aの購入者は、上記二つ折りにされた台紙2を上記切断された角部6cから剥離し、化粧品Aをプリスターケース1の開口部3から取り出す。

【0020】このように、上記実施の形態によれば、商品名等の情報が印刷されている印刷スペースが二つ折りにされた台紙2の外側の2面（台紙材6の表面6aに対応する面）および対峙する内側の2面（台紙材6の裏面6bに対応する面）の合計4面となるため、多くの情報を台紙2に印刷することができる。したがって、化粧品Aのようにその化粧料の全成分を表示する義務がある場合等でも、印刷スペースが十分にあり、別途に上記全成分が記載された紙を必要としない。

【0021】また、プリスターケース1は、従来の技術のように台紙52に接着剤により貼着されているのではなく、そのフランジ部5が上記台紙材6の裏面6b同士で挟持されて台紙2に固定されている。このため、プリスターバックを作製する際には、プリスターケース1の固定に接着剤を用いないため、接着剤の種類を管理する必要がなく、いろいろな材質のプリスターケース1に対応することができ、また、化粧品Aを取り出す際には、プリスターケース1と台紙2とを簡単に分別することができる。

【0022】ところで、従来のプリスターバックでは、商品が円柱状体や球状体であると、商品がプリスターケース51内で回転し、商品の正面がプリスターバックの正面を向かないことが多かった。しかしながら、上記実施の形態のプリスターバックでは、上記剥離糊が防滑性を有しているため、化粧品Aが円柱状体や球状体であっても、化粧品Aがプリスターケース1内で回転せず、プリスターバックの作製時から化粧品Aの販売時まで、化粧品Aの正面をプリスターバックの正面に向けておくことができ、店頭陳列時の外観がよくなる。

【0023】さらに、プリスターケース1のフランジ部5は、台紙2の内部にあるため、外側から見えず、店頭陳列時の外観がよくなる。

【0024】なお、上記実施の形態では、プリスターケース1の材質をPVC（塩化ビニル樹脂）としたが、これに限定されるものではなく、A-PET（ポリエチレンテレフタレート）、PP（ポリプロピレン）、PS（ポリスチレン）等の他のプラスチックの材質でもよいし、プラスチック以外の材質でもよい。また、台紙2（台紙材6）を紙製としたが、これに限定されるものではなく、プラスチック等の他の材質でもよい。

【0025】

【発明の効果】以上のように、本発明のプリスターバックによれば、台紙が台紙材を二つ折りにすることにより形成されているため、印刷スペースが二つ折りにされた台紙の外側の2面（台紙材の表面に対応する面）および対峙する内側の2面（台紙材の裏面に対応する面）の合計4面となり、多くの情報を台紙に印刷することができる。また、プリスターケースのフランジ部を台紙材の裏面同士が挟持することによりプリスターケースが固定されているため、プリスターバックを作製する際には、プリスターケースの固定に接着剤を用いない。このため、接着剤の種類を管理する必要がなく、いろいろな材質のプリスターケースに対応することができ、また、商品を

取り出す際には、プリスターケースと台紙とを簡単に分別することができる。

【0026】また、本発明のプリスターバックにおいて、剥離糊が防滑性を有するものである場合には、商品がプリスターケース内で回転せず、プリスターバックの作製時から商品の販売時まで、商品の正面をプリスターバックの正面に向けておくことができ、店頭陳列時の外観がよくなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のプリスターバックの一実施の形態を示す斜視図である。

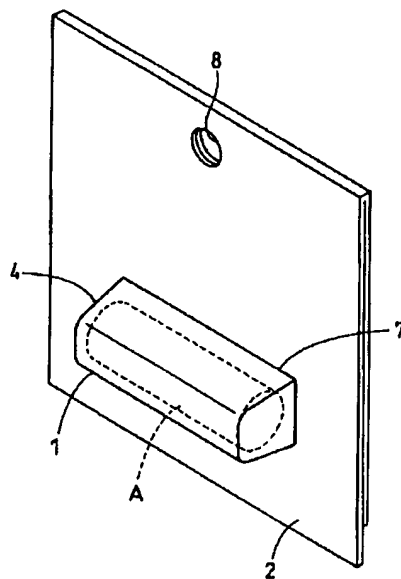
【図2】上記プリスターバックの作製方法を示す説明図である。

【図3】従来のプリスターバックを示す斜視図である。

【符号の説明】

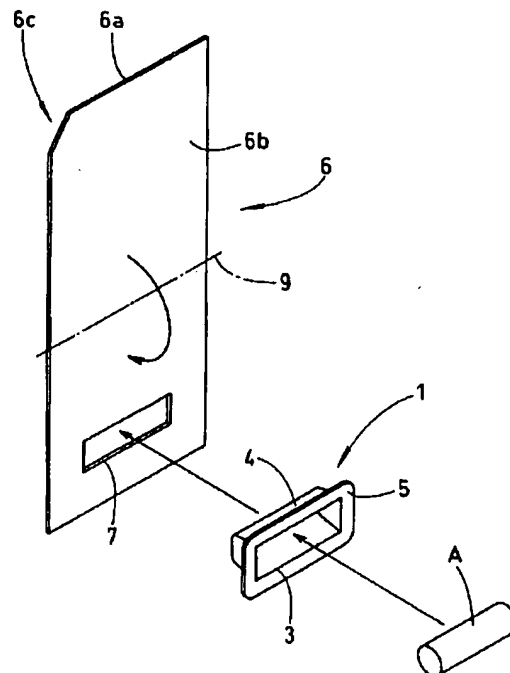
- A 化粧品
- 1 プリスターケース
- 2 台紙
- 4 容器部
- 7 窓部

【図1】



- A : 化粧品
- 1 : プリスターケース
- 2 : 台紙
- 4 : 容器部
- 7 : 窓部

【図2】



【図3】

